「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ①

○ 政府方針等

- 岸田総理大臣施政方針演説（令和４年１月通常国会）
  日本酒、焼酎、泡盛など文化資源のユネスコへの登録を目指すなど、日本の魅力を世界に発信
- 菅総理大臣施政方針演説（令和３年１月通常国会）
  日本酒、焼酎などの文化資源について、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す

○ 登録無形文化財登録

「伝統的酒造り」を登録無形文化財に登録 (令和３年12月２日)
（「書道」と並び、登録無形文化財として初めての登録）

1 登録要件
- 米などの原料を蒸すこと
- 手作業で伝統的なこうじ菌を用いてバラこうじを製造すること
- 並行複発酵を行っており、水以外の物品を添加しないこと　等

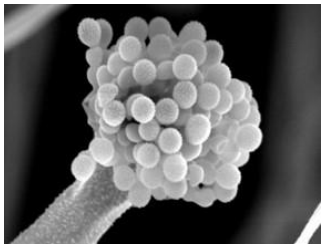
2 保持団体
日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会(令和３年４月16日設立)
会長：小西 新右衛門（こにし　しんうえもん）

（蒸きょう）

（こうじ造り）

（もろみ管理）

（こうじ菌（国菌））



○ ユネスコ無形文化遺産への提案

- 令和５年３月　　ユネスコ事務局に提案書を再提出（令和4年3月　当初提出）
- 令和６年６・９月　　ユネスコ評価機関会合
- 令和６年11月頃　　ユネスコ評価機関による評価結果公表
- 令和６年12月2～7日　政府間委員会において審議・決定見込み（パラグアイ）

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 ②

➢ ユネスコ無形文化遺産登録に向け、文化庁・保存会等と連携し、各種機運醸成事業を実施

○ 「伝統的酒造り」シンポジウム（国内）

➢ 酒造りの担い手や有識者を交え全国で順次開催

開催年月日	会場	内容
令和４年２月26日	国立科学博物館（東京）	こうじ菌文化に焦点
３月26日	京都国立博物館	日本酒に焦点
５月28日	沖縄県立博物館・美術館	泡盛に焦点
６月11日	福岡国際会議場	本格焼酎に焦点
11月 ５日	名古屋クレストンホテル	みりんに焦点
令和５年３月 ５日	江陽グランドホテル（仙台）	東北の酒造りに焦点
３月23日 24日	札幌駅前地下歩行空間	北海道の酒造りに焦点
10月 8日	しいのき迎賓館（金沢）	石川の酒造りに焦点
令和６年２月24日	池田総合体育館（徳島）	四国の酒造りに焦点
3月30日	熊本駅白川口駅前広場	熊本の酒造りに焦点

（パネルディスカッションの模様）

（酒造り唄の披露）

○ ALT（小中学校等の外国語指導助手）等を通じた広報

➢ 日本に滞在中のＡＬＴ等の在留外国人向け酒蔵見学ツアーを開催

➢ 令和５年11月～令和６年３月に、北海道から沖縄までの36道府県で、520名が参加

➢ 体験談は本人SNSを通じ母国へ情報発信のほか、自治体国際化協会の機関誌に体験記を掲載

○ 「伝統的酒造り」シンポジウム（海外）

➢ 令和5年2月2日 パリ日本文化会館

ユネスコ各国大使や仏の酒類関係者等を招待し開催。現地の清酒製造者や仏人講師等を交え、ワインと比較しながら、日本の酒造りを訴求

➢ 令和5年5月23日 在フランクフルト日本国総領事 公邸

行政、メディア関係者等を対象としたセミナー及びレセプションを開催。日本料理や西欧フュージョン料理とのペアリング体験を実施

➢ 令和5年9月25日 ジャパンハウス・ロンドン

伝統産業（日本酒・ワイン）に携わる日英の女性醸造家による対談（トークセッション）を実施

➢ 令和5年11月15日～20日 在スペイン日本国大使 公邸 等

行政やメディア関係者を対象とし、日本食普及親善大使や利き酒師によるセミナー等を実施

➢ 令和6年3月7日～11日 ローマ文化会館 等

メディアや料飲業者等を対象とし、伊人酒サムライや日本の酒蔵によるセミナー及びパネルディスカッション等を実施

➢ 令和6年9月10日 在デンマーク日本国大使 公邸

料飲業者等を対象としたセミナー及びパネルディスカッションを開催。終了後のレセプションでは、デンマーク料理とのペアリングを実施。